

## 光重合型コンポジットレジン修復 [前歯部]

宮崎 真至先生  
(日本大学歯学部 教授)

1



**窩洞形成**  
色調適合性が不良な旧修復物をペアシェイプタイプのダイヤモンドポイントで除去する。このとき、歯質の切削は最小限になるように努める。

2



スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーチブ<sup>(※1)</sup>塗布  
隣接歯を樹脂テープで保護し、アドヒーチブを充分に塗布する。これによって、スミアーアー層を除去するとともに歯質との化学的接着が獲得される。

3



**フロアブルレジン填塞**  
アドヒーチブをエア乾燥し10秒間光照射後、窩洞のライニングのために、フィルテック™ シューブリーム ウルトラ フロー コンポジットレジン (A2) を填塞する。

4



**フロアブルレジン填塞**  
フロアブルレジンの填塞によって、窩壁を平滑にして気泡の迷入を防止する。

5



**ユニバーサルレジン填塞**  
フィルテック™ シューブリーム ウルトラ コンポジットレジンのA2Dシェードを填塞し、明度のコントロールを行う。

6



**ユニバーサルレジン填塞**  
引き続き、A2Eシェードのペーストを填塞し、平筆を用いて形態を整える。

7



**術後**  
カーバイドバーを用いた形態修正に引き続き、ソフレックス™ XT研磨ディスクで最終研磨を行う。隣接面の移行部を表現することが、前歯部修復では重要となる。



※1 スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーチブ

# 光重合型コンポジットレジン修復 [臼歯部]

松本 勝利先生  
(福島県開業)

1



術前  
左下6番の破折したインレーを除去し、CRで審美修復することとした。

2



窩洞形成後  
破折したインレーを除去し、可能な限り歯質を残すように窩洞形成する。

3



スコッチボンド<sup>TM</sup> ユニバーサル アドヒーシブ塗布  
20秒間塗布する。

4



エア乾燥  
弱圧のエアで波打っていたアドヒーシブが動かなくなるまでエアプローラーする。

5



光照射  
10秒間光照射。添付文書よりも長めに光照射することがより良い予後を得るために重要。

6



フロアブルレジンでコーティング  
窩底部からマージン部までを覆うようにフィルテック<sup>TM</sup> シュープリーム ウルトラ フロー コンポジットレジンを一層塗布し、光照射する。

7



ユニバーサルレジン充填  
フィルテック<sup>TM</sup> シュープリーム ウルトラ コンポジットレジンを充填。咬合面の形態を忠実に再現することが臼歯部の審美修復のポイント。

8



術後  
咬合チェックを終え、最終研磨した。

**3M ESPE**

スリーエム ヘルスケア株式会社  
歯科用製品事業部

詳しい情報は… **Let's Access!**

3M ESPE 歯科用製品ホームページ

3M 歯科

<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/>

検索

当事業部取扱製品のお問い合わせは

3M ESPE コールセンター

**0120-332-329**

\*受付時間／9:00～17:00 月～金(土・日・祝を除く)

\*フリーダイヤルが繋がらない場合は、

03-6409-3157をご利用ください。